

# 労働安全衛生

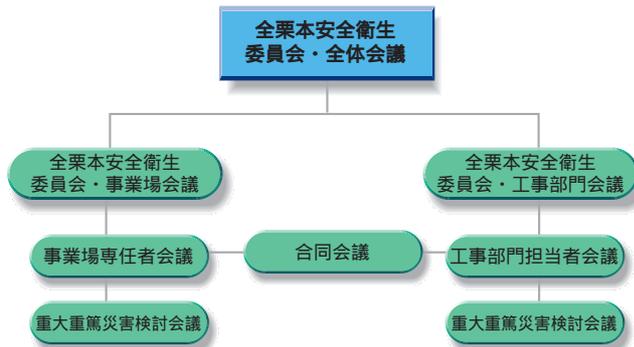
## 「災害ゼロ」と「疾病ゼロ」を目指して

安全作業の基本は「みんなの協力と努力の積み重ね」だと考え、管理監督者・作業員・安全担当者がそれぞれの立場で、安全対策に積極的に参画しています。

## 安全衛生を推進するしくみ

当社の安全衛生活動は、「安全衛生管理規定」によって定められた「全栗本安全衛生委員会」を中心に行っています。委員会では製造業である「事業場」と、建設業である「工事部門」のそれぞれできめ細かい活動を進めています。

安全衛生活動の組織図



## RBS運動2年目の年

2001年度は安全衛生管理体制を「事業場」と「工事部門」の2本立てで考え、きめ細かく推進させてきた3年目の年です。また「戻ろう 基本に、安全衛生RBS(ラプス)運動」がスタートして2年目の年でもありました。「全てを基本に戻ってゼロ災ヨシ!」をスローガンに従業員一丸となって努力してきました。その結果災害総件数は1995年の年間60件台から40件台に大幅に減少しましたが、その後は一進一退の状況です。RBS運動の具体的な取り組みとして以下の活動が実施されています。

(1) 不安全設備&不安全作業の摘出と対策

- (2) 類似災害&在来型災害の撲滅
- (3) 管理者・監督者などへの安全衛生基本教育
- (4) 部門別教育資料に基づく安全衛生教育実施
- (5) 安全衛生管理体制の確認(チェック)への取り組み

労働災害発生件数



## 労働安全衛生マネジメントシステム

品質(ISO9000)、環境(ISO14000)に続いて、新たに労働安全衛生分野でもマネジメントシステムの構築が急務となっています。現在ISO(国際規格)化の準備も進行中です。より安全な職場の実現には「計画-実施-評価-改善」というプロセスを明確にした継続的なシステムが不可欠です。当社ではこれまでも個々の法規制遵守や、過去の災害事例から労働安全衛生を検証してきましたが、一時的な効果はあっても継続的な災害防止という面では、手詰まりを感じています。新しい視点に立った取り組みは大きな課題です。

埼玉工場ではISO14001の認証を取得し、無災害1,000日を記録していました。しかし、「良好な安全記録が必ずしも安全な工場と言い切れない」との思いがあったため、当時ISOのベースになると目されており、OHSAS18001のモデルとなったBS8800の取得を決断し、1998年12月7日に認証を取得しています。日本最先発の認証であり、現在も運用されています。

続いて2000年12月8日には大阪臨海工場が、OHSAS18001の認証を取得しました。その他の事業場でも認証取得に向けて計画を実施中です。